## ◎航空業務に関する日本国とオランダ王国との間の 協定の附表の修正に関する交換公文

# (略称)オランダとの航空協定附表修正取極

昭和四
十七年
十二月
十 九
日
東京で

昭和四十七年十二月二十六日 告示 昭和四十七年十二月 十九 日

効力発生

(外務省告示第二七〇号)

オランダ側書簡	2 附表Ⅱの修正	1 附表1の修正	日本側書簡	目次
四六〇	四五九	四五九	四五九	ページ

オランダとの航空協定附表修正取極

附表Ⅱの

#### (航空業務 の修 Ē に関する日本国とオラ に関する交換公文 ン ダ 王 国 との 間 0 協定の

#### 本 側

#### 訳 文

二十五日 定 局 協定の第十三条及び第十五条の規定に 月 ととを、 ン の附表 間で最近行な 十七日 ダ王国との 書簡 をも k 日本国政府に代 に修正された。)に (千九百五十八年 . \ | つて啓上いたします。 間 われ この協 グ で署名された航空業務 |定の了解に関する同日付けの た会談に わつて確認する光栄を有します。 五月十二日及び千 次の修正を行なりことが合意され 関 Ļ 本大臣 それらの航空当局 従つて両 がに関 は、 はする 九百六十 千九百 締 約 書 日本国 国 簡 五十三年二 四年五月 間 |の航 並 で同 びに同 とオラ 空当 た 協

1 路線) 日本国 附表 VC I 内の 掲げる路線(a) (日 地 本 国の 点 に改 一又は二以 中 いめる。 Ö 東 上の 京 大阪 指定 1 航空企業が運営する 福岡 Ī 桝 繩 を

2 営する路 除する。 附 表Ⅱ 線 オ ヘラン ン に掲げる路 ダ王国 線 (a) の一又は二以上の指 中 0 沖繩及び 定航空企業 (又は) 一を削 不が運

光栄を有します。 を述べた閣下の返簡 本大臣は、 前 記 0 0 修正が 日 付 0 才 日に ランダ王国政府による同様の . 効力を生ずることを提案する 確 認

本大臣は、 以上を申 し進めるに際し、 ことに重ね て閣下に 向

ランダとの航空協定附表修正

取

極

## (Japanese Note)

Tokyo, December 19, 1972

### Excellency,

on behalf of the Government of Japan, that and May 25, 1964, have been agreed upon bethat Agreement, as amended on May 12, 1958, that Agreement, I have the honour to confirm, accordance with the Articles 13 and 15 of authorities of both Contracting Parties in consultations held between the aeronautical tween the said aeronautical authorities: the following amendments to the Schedule of the Hague on that date, and to the recent Agreement between Japan and the Kingdom of ing of 17th February 1953 relating to the With reference to Netherlands for air services, signed at the notes of understand-

Fukuoka "Points in Japan" line or airlines of Japan) "Tokyo - Osaka -(Routes to be served by the designated airl. In the route (a) specified in Section I - Okinawa" shall be replaced by

line or airlines of the Kingdom of the 2. In the route (a) specified in Section II deleted Netherlands) "Okinawa and/or" (Routes to be served by the designated air-

into force on the date of Your Excellency's Government of reply stating a similar confirmation by the the aforementioned amendments shall enter I have further the honour to suggest that the Kingdom of the Netherlands.

avail myself of this opportunity to

#### 四五九

かつて敬意を表します。

千九百七十二年十二月十九日に東京で

外務大臣

大平正芳

オ

ラン ダ王国

特命全権大使

Ⅱ・P・ベルフスマ 閣下

(オランダ側書簡

(訳文)

有 します。 書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百七十二年 日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を 月

官 一本側 書 簡

て確認 国の航空当局間 . 9 本使は、 閣下の提案に同意する光栄を有します。 し、 閣下 前記の修正がこの返簡の日付の日に効力を生ずると で合意されたことをオランダ王国政府に代わつ の書簡に言及された協定の附表 の修正が両締約

> my highest consideration. renew to Your Excellency the assurance of

(Signed) Masayoshi Ohira Minister for Foreign Affairs.

His Excellency Dr. Th. P. Bergsma, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Kingdom of the Netherlands.

(Netherlands Note)

Tokyo, December 19, 1972

Excellency,

receipt of Your Excellency's Note of I have the honour to acknowledge the which reads as follows:

"(Japanese Note)"

upon between the said aeronautical authorithe Netherlands, that the amendments to the Schedule of the Agreement mentioned in I have further the honour to confirm, on behalf of the Government of the Kingdom of Your Excellency's Note have been agreed

ties and to agree to Your Excellency's suggestion that the aforementioned amond-ments shall enter into force on the date of this reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

つて敬意を表します。

千九百七十二年十二月十九日に東京で

オランダ王国大使

T・P・ベルフスマ

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

(Signed) Th. P. Bergsma Ambassador of the Kingdom of the Netherlands

His Excellency Mr. Masayoshi Ohira Minister for Foreign Affairs

外務大臣

大平正芳閣下

Minister for Foreig

月十二日付けの交換公文(条約集覧及び条約集第一三九九号参照)及び一九六四年五月二十五日付け 一一一○号参照)の附表の一部を修正することを定めたものである。なお、同附表は、 (参考) この取極は、 一九五三年二月十七日にヘーグで署名された日・蘭航空協定(条約集覧及び条約集第 一九五八年五

の交換公文(昭和三十九年二国間条約集及び条約集第一五四〇号参照)により二度修正されている。

四六一